

第12回 苫小牧市スポーツ推進審議会結果報告書

【日時】 令和元年11月21日（木）18時～19時10分

【場所】 市役所本庁舎5階第2応接室

【出席】

▽苫小牧市スポーツ推進審議会委員 8名（12名中）

本間会長、永石副会長、池田委員、鈴木委員、中村委員、藤岡委員、
前田委員、宮野委員

▼事務局（市）

まちづくり推進室 : 柴田室長

スポーツ都市推進課 : 神保課長、畠山課長補佐、木村主査、戸澤主事、
林川主事、荒谷主事、浦主事、佐藤主事

～～～議事内容（審議経過・意見・質問等）～～～

1 開会

2 挨拶（柴田まちづくり推進室長）

3 議事（進行：本間会長）

※ 以下の質疑・意見については、▽は委員発言、▼は事務局発言。

（1）令和元年度スポーツ施策実施報告・見込及び令和2年度スポーツ施策について（※事務局から説明）

- 推進計画に掲載している施策の令和元年度実績と令和2年度予定を説明（資料1参照）

▽永石副会長

- ・令和元年度に新規で始まった事業の中で令和2年度は廃止となっている事業があるが廃止になった理由はあるのか。

▼事務局

- ・単年度かぎりの事業となっているものである。

▽本間会長

- ・ 中学駅伝については、諸般の事情もあり、今年度の第28回大会をもって終了となっている。
- ・ 各施策とも継続する中で検討しながら、事業展開を行っている。

▽永石副会長

- ・ 事業の実施にあたっては、参加者数等の結果についてだけではなく、スポーツ推進への有効性の検証というのも重要となってくる。

▽宮野委員

- ・ 18番の「地域スポーツクラブ支援事業」について、施策の目標・方針（世界で活躍できる選手を育てる）と事業内容（地域にスポーツを楽しむ場をつくり定着させる）が合っていないのではないかと。

▼事務局

- ・ 計画策定時の目標が、事業を実施していく中で合わなくなっているものもある。事業内容を再度検討するとともに、今回の中間見直しをするにあたって、目標・方針と事業内容の整合性を精査する際の参考とさせていただきたい。

▽池田委員

- ・ 30番の「町内会スケートリンク経費助成」について、リンクを作る町内会はどの程度あるのか。

▼事務局

- ・ 前年度の実績が5町内会となっており、今年度は1町内会が新たに申請を希望している。

(2) 運動・スポーツ活動実態調査について（※事務局から説明）

- スケジュールについて説明（資料2参照）
- 調査項目について説明（資料3参照）

▽本間会長

- ・ 前回の調査と変更点はあるのか。

▼事務局

- ・ 前回は世帯主を抽出して調査用紙を送付したおり、年齢構成・性別に偏りが生じてしまったため、今回は世帯主に絞らず送付することとしている。

▽藤岡委員

- ・ 中学から高校に上がった際にスポーツを辞めてしまう子供たちが多くいる。スポーツ人口を増やすということを考えた時にはスポーツを辞めた理由を質問する項目があった方がよい。

▽永石委員

- ・ 日本のスポーツは学校の部活動に頼っている部分が多く、一つのスポーツしか行っていないという課題がある。そのため、総合型地域スポーツクラブのように複数のスポーツができる場の必要性を質問する項目があってもよい。

(3) 障害のある人の運動・スポーツ活動実態調査について（※事務局から説明）

- スケジュールについて説明（資料4参照）
- 調査項目について説明（資料5参照）

▽鈴木委員

- ・ どの質問項目も同じ内容を確認するように見受けられ、障害のある方の意識が見えにくい内容に感じる。実際に障害のある方に意見を伺った方が現実的な質問項目が作成できるのではないか。
- ・ 調査対象者の（3）については、プライバシーや個人情報の観点から問題はないか。

▼事務局

- ・ 調査にご協力いただき苦小牧市身体障がい者福祉連合会や苦小牧市手をつなぐ育成会等の団体のご意見も参考にしながら作成を行っていく。
- ・ デリケートな問題であるので、福祉部署に再度確認し検討する。

▽永石副会長

- ・ 調査項目の内容については、パラリンピック委員会等のパラスポーツ大会を運営する団体が行っている調査も参考にするとよい。

(4) 今後の策定スケジュールについて（※事務局から説明）

- スケジュールについて説明（資料6参照）

(5) スポーツ施設整備計画について（※事務局から説明）

- 概要について説明（資料7参照）
- 総合体育館の今後の方向性について説明

▽永石副会長

・施設単体でのコスト維持は難しくなっており、コンサート等でスポーツ施設に人を呼べるような多目的に使える設計が必要である。施設を見直すにあたっては既存施設の集約を進めながら、利益を生むような施設を建設していかなければならない。スポーツ施設でまちおこしをしている方の意見を聞く場を設けながら進めていってほしい。

▼事務局

・スポーツ施設を建設するにあたっては PPP/PFI を活用しながら、立地や機能面等を民間との話し合いの場を設けるとともに、他の自治体の施設を実際に視察し参考にしながら検討していきたい。

(6) 次回の審議会について (※事務局から説明)

●次回開催は令和2年6月予定 (5月に案内送付予定)

4 その他

●事務局から2020東京オリンピック・パラリンピック開催事業について説明

5 閉会